

臨床検査の



Vol.47 : 当院の検査体制について

新型コロナウイルスに関して当院の検査体制をまとめました。

LAMP法検査

結核菌の検出検査としてリアルタイム濁度測定装置を使用してきました。この装置で新たに新型コロナウイルス検出キットが発売されたことによりLAMP（ループ介在等温増幅）法と呼ばれる遺伝子増幅検査を実施していました。現在では全てPCR検査に切り替えて実施しています。

PCR検査

国内・国外合わせて数多くのPCR装置があり、院内で検討を重ねた結果、1日に50検体処理可能な機器を導入しました。現在は6名の臨床検査技師により2名体制で検査を実施しています。院内、地域・外来検査センター、保健所などから検査を受託しています。

抗原検査

迅速に抗原検査が可能な、抗原測定装置「ルミパルスG1200」を導入しました。1日に100検体処理可能で、休日夜間にも対応ができるよう臨床検査科全職員に教育訓練を実施しました。

2020年これまでの主な出来事

1月	16日	日本での感染者を確認
2月	5日	クルーズ客船での集団感染により隔離措置がとられる
	11日	WHOが新型コロナウイルス感染による疾患をCOVID-19と命名
3月	6日	PCRが保険適用に
	14日	インフルエンザ等対策特別措置法改正
	27日	当医療圏にて初の感染者確認
4月	7日	緊急事態宣言発出
	20日	LAMP検査開始 20件/日
5月	13日	抗原検査が保険適用に
	25日	飯田市地域外来・検査センター開設
6月	16日	抗原検査でも確定診断可能に
	20日	唾液によるPCRが可能に
	25日	唾液による抗原検査が可能に
7月	30日	PCR検査開始 50件/日
8月	13日	職員・家族の希望による検査開始
	17日	抗原検査開始 100件/日

